

の事例に学ぶ～

総務建設産業常任委員会

- 視察地 埼玉県深谷市、群馬県沼田市
- 視察日 令和元年10月1日・2日



深谷市が応援するクラウドファンディングを学ぶ



議会閉会時は沼田市民の活動スペースに変わる議場

市民協働のまちづくり、クラウドファンディングおよび庁舎建て替えの先進地へ

クラウドは仲間・群衆、ファンディングは資金調達を意味し、新事業のアイデアを持つ起案者が専用のインターネットサイトで計画を提案し、共感した人達から、資金を集める手法で、目標金額が達成できた企画のみ実

行でき、低リスクで済みます。深谷市では、市民の自主的な活動を応援し、市民協働のまちづくりの推進のため、個人もしくは企業が、クラウドファンディングを活用時に手数料の一部を助成しています。起業家応援と

共に町の活性化にもなり、当町でも参考にすべき事業と感じました。翌日は、廃墟となりかけていた商業施設をリノベーションし、3つの機能を持つ庁舎にした沼田市を視察しました。1つ目は6つの分庁舎の集約、2つ目

は、市民活動施設、3つ目は商業・業務施設として活用し、利便性向上により常に市民が集う賑わいのある明るい庁舎となつていきます。当町も、庁舎建て替えは喫緊の課題です。大いに参考にした事例でした。

視察報告 ～先進地

文教民生常任委員会

- 視察地 茨城県東海村・境町
- 視察日 令和元年10月9日・10日



東海村福祉サービスについて学ぶ



境町長によるプレゼン

共生社会、地域包括システムと英語教育

茨城県東海村は、平成28年から令和2年までを対象とした、第三次東海村地域福祉計画を立てています。「支え合いコーディネート」を配置し、地域における生活課題に対する福祉サービスを調整します。個別の困難ケ

ースをコーディネートする「相談支援包括化推進員」と伴に、話し合いの場として「絆まるっとプロジェクト」を開催します。また、小学校区圏域（6地区）に地区社協が配置され、住民同士の支え合いを深めています。

茨城県境町は、「すべての子どもが英語を話せる町」を掲げ、スーパーグローバルスクール事業に取り組んでいます。フィリピンから17人の外国人英語講師を招聘し、小学校5校に12人、中学校2校に5人を配置してい

ます。年間1億円の費用がかかりますが、ふるさと納税から英語基金に6億円を積み立てており、そこから運用しています。先進的英語教育による効果と充実した子育て支援により、移住・定住を促進しています。